

県立国分高等学校

目 標

- ・ グローバル化する社会に対する生徒の関心を高める。
- ・ 国際理解と異文化交流の重要制についての理解を深める。
- ・ 国際理解教育の内容の充実を図り、国際社会で活躍する生徒を育成する。

留学生等との交流会の開催

- (1) 日 時：平成31年1月31日（木）11時30分から17時
- (2) 会 場：本校第1講義室、第2講義室、社会科教室、視聴覚室
- (3) 留学生等：メロス言語学院の留学生8名
- (4) 参加者：第1学年生徒323名、教員14名、 計 337名
- (5) 内 容：

4会場で留学生2名がペアになり、パワーポイントを使用しながら、台湾の文化や生活習慣について時にはクイズを出しながら説明があった。台湾修学旅行で使用できる中国語の挨拶や会話の指導、さらに、班別自主研修についての助言もあった。日本と台湾との学校の相違点や共通点についても話していただいた。



留学生と昼食を共にして懇談



留学生による台湾紹介の授業

- (6) 事前学習：総合的な学習の時間および地理Aの授業で、台湾の地理と文化について学習した。
- (7) 事後指導：今回の修学旅行で学んだことを台湾修学旅行で活用したい。
修学旅行後は、文集兼アルバムを作成する予定である。
- (8) 参加者の感想等：
 - ・ 今日はとても楽しく、台湾のことをよく知ることができてうれしかった。特に現地の方のお話はとても貴重だったので楽しかった。とても熱心に教えてくれたため、心に残るものがあった。
 - ・ 台湾の色々なところを細かく教えてくれてとても分かりやすかった。日本との比較をしている部分があったり、日本が関係していることが多かったりと知らなかったことがたくさんあった。

海外理解促進のための講演会

(1) 日 時：平成30年11月15日（木） 14時20分から15時30分

(2) 会 場：本校1年1～4組教室、視聴覚室、第1講義室、PC室

(3) 講 師：氏名 向坂 勝之 氏 他7名

所属 一般社団法人ディレクトフォース授業支援の会

経歴 現役時代に商社・メーカー等で海外勤務を経験

(4) 参加者：第1学年生徒323名、教員14名、 計 337名

(5) 内 容：

各会場で講師がパワーポイントなどを使用して、海外勤務の体験や異文化理解の重要性について説明。その後、生徒と質疑応答を交わした。



(6) 事前学習：講師より事前に提示された課題について調べ、質問事項を考えた。

(7) 事後指導：講演内容の感想文の作成、講師より感想の返信およびアドバイス

(8) 参加者の感想等：

自分の夢を実現するためには、まず自分の「できること」「したいこと」「すべきこと」を考えることが大切なのだと分かった。これから社会に出て、外国の人と関わりを持ち東京オリンピックまでには少しでも英語が話せるといいなと思った。また、自分のコンパスをもって自分らしく自分の意見をもって生活したいと思った。今は勉強を頑張りたい。

事業の成果

- 台湾の留学生と交流することによって、彼らが短期間で日本語を習得している点や積極的に日本社会に溶け込もうとしている点に生徒は大きな刺激を受けた。台湾についての最新の情報を提供してもらい、修学旅行の事前学習として活用できた。
- 実業界で活躍された方からお話をお聞きし、文化の異なる社会で働くことの意味を考えることができた。また、企業で働いた経験を聞くことにより、進路学習としても活用できた。

今後考えられる新たな取組

- 今年度は他にもインドネシアのメダン市青少年団、台湾の新店高級中学来校、アジア太平洋地域の教育関係職員の受け入れなどがあった。今後もこうした交流を続けていきたい。
- 現在、1学期に短期の留学生を受け入れているが、年単位の長期留学生の受け入れも検討したい。